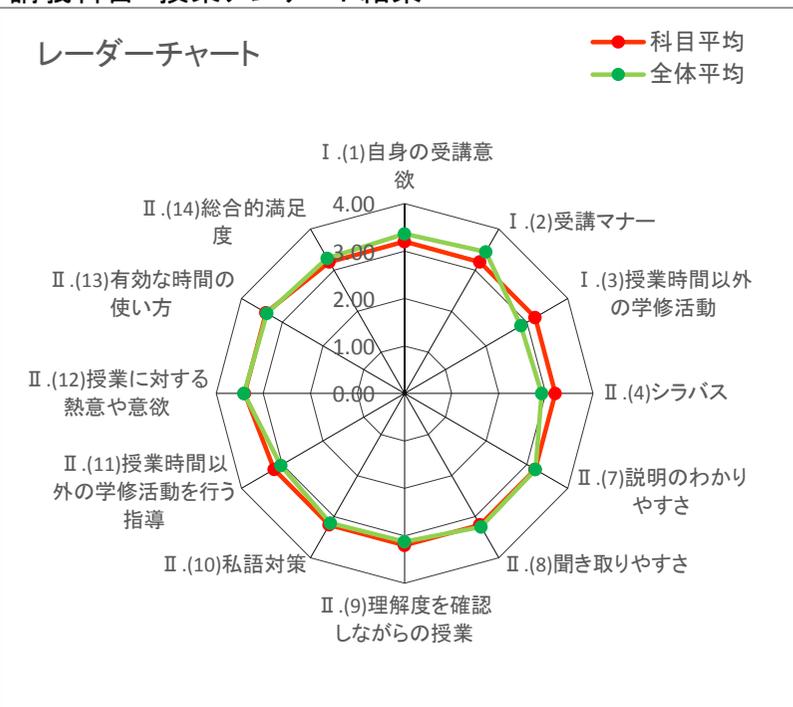
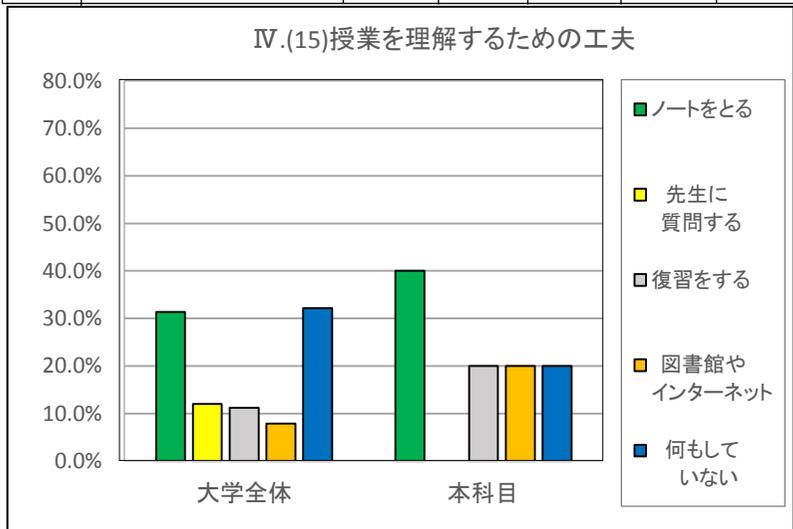


講義科目 授業アンケート結果



※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2、(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉	ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(15) 授業を理解するための工夫	40.0%	0.0%	20.0%	20.0%	20.0%



アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2015年度 前期
時間割番号	41303
科目名	商法 I
教員名	

①授業計画の達成度について

授業はシラバス記載の授業計画に従って行います。授業では、法律の条文解釈を丁寧に行い、制度がどのように運用されているのかを具体的に理解するため、講義の中で判例解説を織り込みながら進めています。授業の目的や法律を学ぶ基本的な姿勢を教えるようにしています。計画は、すべて予定通りに行っています。受講生が、授業中に理解できなかったところを帰宅後再度勉強する、わからないところを質問する、ということが少し不足しているようです。

②授業の進め方について

商法 I は、商法総則・商行為法と会社法の総則です。法律学の学習は、条文解釈、学説・判例が基本です。条文を学生に音読させ、判例の理解を促進するために、事実関係を図に表す練習をさせます。適量な声で明瞭に講義します。私語は皆無です。授業中に学生に条文を読ませたり質問するので、自ずと積極的な授業への取組みになります。授業に対する満足度がやや低いのが気になるところですが、難易度的に理解はできるが、受講意欲に欠けるとする自己評価がその原因と思われます。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

積極的な授業への取組みと意欲向上を目的として、条文の音読をさせたり質問を多くすることで、理解を促進できていると考えます。授業態度は、全体的にまじめに講義を聴きノートをとる姿勢がうかがえます。ただし科目自体に対する興味の点で、満足するものがやや少ないようです。受講生の受講意欲にも反映しています。商事関連の身近な事件があれば、これを材料として関連の条文や判例を紹介するという方法を取り入れてみようと考えています。

	設問No	科目平均	全体平均
受講姿勢	I.(1)	3.20	3.36
	I.(2)	3.20	3.45
	I.(3)	3.20	2.86
受講内容・方法	II.(4)	3.20	2.91
	II.(5)		
	II.(6)		
	II.(7)	3.20	3.21
	II.(8)	3.20	3.25
	II.(9)	3.20	3.13
	II.(10)	3.20	3.16
	II.(11)	3.20	3.04
	II.(12)	3.40	3.41
	II.(13)	3.40	3.37
満足度	II.(14)	3.20	3.29

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	3.20	3.22
I.(1)~(3)		
講義内容・方法	3.25	3.18
II.(4)~(13)		
総合的満足度	3.20	3.29
III.(14)		